

佳作 お母さんの魔法、世界で一番の天使



ヌルリンダ
NURLINDAH

国	籍	インドネシア
職	種	介護
実習実施者		医療法人社団晃進会
監理団体		Jプロネット協同組合

世界中で一番大切な人は誰ですか？そのような質問がされた場合、皆さんの答えは何でしょうか？人それぞれの答えは違います。でも、その質問が私に尋ねられたら、私の答えは母です。しかし、実は小さい頃、私はお母さんのことはあまり好きではありませんでした。なぜかという、お母さんはとても規律のある人であり、従わなければならない多くの規則がありました。例えば早起し、家を掃除し、衣服を洗うことです。これらはすべて、学校に行く前に完了させなければなりません。それだけではなく、日曜日でも家や庭を掃除し、野菜園芸を行いました。しかし、一番辛いのは、友達と遊ぶ時間は少なく、テレビを見る時間も一日たった2〜3時間と決められていたことです。あの時、私はいつも自分に問いかけました。なぜお母さんはそんなに厳しいのですか？なぜ私のお母さんは友達のお母さん育て方と違うのですか？お母さんは私を愛しているのかな？私はお母さんの子供ですか？この質問がずっと頭の中で回転していました。そして、父にだけ聞いたことがあります。父は「大人になったら、自分ですべての答えを見つける事ができ、あなたのためです」と答えました。父の答えはあの頃は

理解する事ができなかったです。しかし、日本で働くことになり、父の言っていた答えが明確になりました。「時は金になり」ということわざがあります。お母さんがいつも早起きするように言っていたのは、まさにこのことです。早起きすればするほど様々な家事をして、習慣になっていきます。今、両親と離れ生活してから、すべて家事を一人でうまくやれるようになりました。そして、また一つお母さんの事が理解する事ができました。日本で一人暮らしをしてるので、本当に寂しいです。私は介護の仕事をして、働いています。介護の仕事は人に直接関係する仕事なので、疲れる事があって、時々ストレスになる事もあります。疲れやストレスを感じ続けたら、健康に良くないです。お母さんがいつも日曜日に野菜園芸をするように言ったのは、仕事に感じた疲れやストレスを減らす方法でした。お母さんと私では、疲れやストレスが違っても、その気持ちを取り除くために趣味が必要だということを学びました。

一つ一つ頭の中で回転していた質問の答えを理解していくうちに、お母さんに対する考え方が大分変わり、私の昔の苦しい気持ちは、感謝の気持ちになってきました。私にとってお母さんは素晴らしい魔法を持っていた天使です。今まで育ててくれて本当に感謝しています。お母さん言葉に逆らう事もあって、本当に申し訳なかったと、今では思うことができるようになりました。今の私はすべてお母さんの魔法のおかげで今も日本で一人順調な生活する事ができてます。だから、私の「世界で一番大切な人」はお母さんですよ。

お母さん、ありがとう。大好きです。